



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0129号 2020年10月30日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-mail staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

全支部から69人参加 第2回活動者会議

「CU東京1500人達成すれば景色が変わる」佐藤委員長

全支部からの参加

10月17日、CU東京は第2回活動者会議を開きました。コロナ禍の、悪天候のしかも寒い一日でしたが、全支部から69人の参加で成功させました。秋の運動に向けて、決意を固めあいました。

佐藤委員長は、「CU東京が1500人になれば景色が変わる」と冒頭あいさつしました。



労働者に労働組合を知らせ

午前中、黒澤幸一全労連事務局長の「コロナ禍だからこそ仲間を助けよう 要求実現へ」の講演に学びました。「コロナ禍の中、きびしい状況に置かれている労働者に労働組合を知らせ、要求で結びついていくことを確信した」と参加者から、感想も寄せられています。



支部の活動から学ぶ

支部の報告は、学ぶことが多く、「文京、江戸川の特別報告は参考になった」、「支部の様々な特徴ある活動に励まされた」などを力にしていくなど感想が寄せられました。

寄せられた感想より一言

労働組合だからできることがあると感じた。(渋谷 女性)

運動は一人ひとりが自分のこととして、そして組合として責任を持ってやっていく必要がある。ともに頑張りたい

(渋谷 男性)
労働組合に加入してたたかう道があること、労働者は声を出してたたかっていくことを呼びかける大切さを学びました。

(足立 男性)
労働相談の強化はやっぱり重要だと感じました (渋谷 女性)

人を大切にするCU東京各支部の厚い活動に改めて感銘を受けた。

(三多摩 男性)
各支部コロナ禍の集会、宣伝、団交を工夫しているので参考になった

目標達成まで、一人一人に声かけ、頑張っていく。(千代田 女性)

争議中、解決した仲間の話を聞いて、組合の重要性を再認識、今後の活動により一層頑張ろうと気が引き締まった。

(中野 男性)



大会が開かれました

江東支部

第12回定期大会開く
組織人員300人から500人へ



1500人まで30人

月間の拡大数は58人になりました。全体の残目標は85人になりました。1500人まで30人に迫っています。達成支部は、江戸川、ちよだ、あだちの3支部です。

コロナ禍で組織化に ともに頑張ろう 三組織と懇談

前列右東京土建中村委員長



CU東京は、秋の運動で拡大月間のとりくみと結びCU東京を知ってもらう活動に取り組んでいます。C

U本部は、10月23日、東京地評の、荻原議長、白滝副議長、井澤事務局長に対応いただき、10月26日にはけんせつプラザ東京に東京土建を訪ね、中村委員長、小番書記長、唐澤常任に対応いただき懇談しました。10月27日には日本共産党東京都委員会を訪ねました。関口書記長、近藤労働部長に対応いただきました。それぞれ予定の1時間を超えて懇談しました。日頃の支援に感謝し、1500人達成に向けたとりくみと決意を伝えました。また、それぞれから労いの言葉もいただき、コロナ禍広がっている雇用不安、拡大している解雇などへのとりくみを話し合いました。

本部ではひきつづき懇談を進めます。

9月26日西大島総合区民センターで、地域労組こうとうは第12回定期大会を開きました。開会のあいさつで中村副委員長は、「新型コロナの影響で2月下旬から活動は、様々な制約を受けたが、3月下旬から労働相談が急増した。困難な事例もあったが、解決してきた」とあいさつ。新野委員長は、「労働者の生活状態が悪くなっている。命と健康を守り、一人一人が孤立しないよう励ましあいながら頑張っていきましょう」と呼びかけました。来賓の寺川CU東京副委員長、内田江東区労連副議長、東部法律西田弁護士、日本共産党から畔上都議会議員と正保区議会議員、江東総合法律中村弁護士から、挨拶をうけました。

川村書記長が活動報告、方針を提案、つづいて争議団が訴えました。

今回、12年間会計監査を務めた丹木さんに花束を贈呈し、長い間支えていただいた功績に感謝しました。新野委員長の団結頑張ろうで終わりました。

- 執行委員長 新野好雄
- 副委員長 小倉一男 清水啓子 清水英明
名越秀和
- 書記長 川村好正
- 書記次長 松井優希
- 会計 田辺陽子

品川支部

CU品川支部第11回大会開催 出席者が少数だが、中身の濃い大会に



10月17日(土)CU品川支部は、品川労協2階において、U品川支部第11回大会を開催しました。この日は、CU東京の1日活動者会議がおこなわれ、佐藤書記長と高畑執行委員が参加、途中退席して支部大会に駆けつける忙しい日でした。

コロナ禍の中、多勢が集まるのを避けるため、組合員全員に議案書を送付し、返信ハガキに近況と議案に対する意見と委任状を書いて貰いました。40人を超える返信と委任を貰い大会は成立。池野委員長の「過去最高の75名を組織し、大会を迎えた」との挨拶、来賓の品川労協柴山事務局長から「年間純増で15名の組合員を増やしたことはすごいこと、団交での奮闘、羽田新ルートの問題は区民の命がかかっている、品川労協もCU品川に協力して行きたい」と激励があり、CU東京からのメッセージも紹介されました。

佐藤書記長から経過・会計報告・方針が一括提案。この中で「今年度後半は、労働相談が多く、組織も拡大できた。前大会より15名増であること。CU東京の拡大月間提起の目標7名の達成をやり、次大会までに100名を。区内での存在感を高め、共済の良さやレクを通じての仲間を増やす事。コロナ禍が収まったらレクを大いにやりたい」などが報告・提起された。特に、今日の活動者会議での黒沢全労連事務局長の講演を生かすことや「労働組合の大切さや役割」を今一度確認すること強調しました。

議案と会計報告・予算が承認。組合員を増やしていけば、労協2階では狭くなり、次の大会は大きな部屋でやる必要があると皆で話しながら、雨の中解散しました。

委員長 池野隆 副委員長 船津斌濤
書記長 佐藤盛雄
執行委員 丹伊田恵寿 高畑稔 南 陳栄
会計監査 武田よね子

各支部の奮闘

文京支部

取り組みは若者中心に



9月20日、後樂園駅前で東洋大学の民主青年同盟が「フードバンク」に挑戦しました。コロナ感染症の影響で経済困難に陥った大学生に宣伝し、区民から提供していただいた食品、米や乾麺、缶詰などを小分けにし、無料で配布しようというものです。

文京支部は昨年話題になった「わかもの食堂」がコロナ感染症のまん延で、開催できないでいたところ、今回、若者の協力要請にこたえ「フードバンク」に全面協力することになりました。「学生の労働相談」も企画に加えてもらい、タイトルは「フードバンク&働き方・学生生活相談会」。各地で取り組まれている「フードバンク」、小袋の中に「個人加盟の労働組合加入書」が入ったユニークさでは全国一位と自負しています。取り組みは若者中心に、文京支部の組合員や議員の応援も含め14人を超え、ぜひ定例化して、若者とそして労働組合の運動の盛り上がりを図りたいと思います。(書記長 山田三平)

足立支部

久しぶりの交流会



10月16日CU足立は組合員交流会を行いました。参加者は24名の参加で労働相談が解決した組合員がすべて参加し、喜びを話し大変いに盛り上がった交流会になりました。

長く在籍している組合員も喜びの声を上げました。
(執行委員 舘幸雄)

宮下武美さんを偲んで

宮下武美さんは、2年数か月前に前立腺がんを発症、手術も成功し活動に復帰していた矢先、10ヵ月前に肺への転移が発見され、放射線と10数種類の抗がん剤治療を受けていましたが、8月10日（月）18時05分永眠されました。



宮下さんは、当時足立区労連の議長として、職場に組合もなく無権利状態で悩み救いを求めている労働者を救うためには、一人でも加盟できる労働組合が必要と、CUあだち支部を立ち上げるべく東京土建足立支部に申し入れて準備会を結成（2010年12月10日）、区労連と土建足立支部の定期会合をもち、2年をかけて2012年11月3日にCUあだちの結成を迎えました。CUあだちの存在を知らせようと月ごとにチラシを作成、毎月1回の駅頭宣伝を取り組みました。数年後にはCUあだち独自で職場で起きる問題の対処法や労働者の権利、労働組合の意義なども入れたパンフを作成・宣伝、そのパンフレットをもらっていた労働者が相談に来るなど効果も表れました。加盟した組合員の定着を図ろうと学習会を兼ねた交流会（おしゃべり会）も工夫して三ヶ月に一回の間隔で行いました。結成時はCUあだちの副議長でCU東京の執行委員になり、CUあだちを早く3桁にしようと書記長の任につき活動に力を注ぎました。

私たちは、宮下さんがひたむきに取り組んできたCUあだちを強く大きくの遺志を引き継いで頑張りたいと思います。本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。ご冥福をお祈りいたします。 CUあだち 舘 （紙幅の都合で一部割合させていただきました）

2020年 第7回はたらく女性の東京集会

12月19日（土）
13:30~16:30
全労連会館2階ホール

人と触れ合うことがままならないコロナ禍で、女性たちは学び、交流します。

来年のはたらく女性の中央集会は、東京開催です。よろしくお祈りいたします。



■新型コロナは世界的に感染が続いている。日本も例外ではない。政策はトラブル続きだ。国民の声に応える対策が求められる。「Go toキャンペーン」の政治でいいのか。■そんな中、文京は民青とタイアップ、「フードバンク」に取り組んだ。学生が多い予想に対し、労働者が多く事態の深刻さを伝えている。■第2回活動者会議を10/17開いた。冷たい雨の寒い日となった。全支部の参加、全支部発言で学びあった。江戸川の「模擬団交」報告に多くの“目からうろこ”の感想、学んだの声が寄せられた。■組合員拡大月間が本場に入った、「1500人」人まで30人と迫る。活動者会議で職場に分会をつくり聞いているピカピカの分会長2人の発言はCUの到達を示した。